

Permission Workflow を使用する前に、アクティブする必要があります。詳細情報は [製品インストール案内](#) をご参照ください。

また、詳しいことはよくあるご質問にご用意いたします。

機能説明

ユーザー/グループの選択プロセス

管理者は前バージョンよりもっと詳細情報を使って、含まれるユーザーと除外されるユーザーを正しく指定できるようになります。Permission Workflow は次の条件に基づいて、ユーザー/グループの指定を行います：

- ユーザー名またはグループ名の入力
- ユーザー/グループを含む列と参照関連列の選択
- 他のリストから、ユーザーの参照と条件に基づいてのフィルタ

a) ユーザー名またはグループ名の入力



The screenshot shows a light blue header with the text 「ユーザー/グループを入力」. Below the header is a large, empty white rectangular input box. In the bottom right corner of the input area, there are two small icons: a red and white person icon and a blue document icon.

Permission Workflow はユーザーとグループ名の入力用ボックスを提供します。複数の入力も可能です。既定のユーザー選択を使用して、管理者は名前を参照できたり、ボックスへの入力した名前をチェックできます。

b) ユーザーまたはグループ列と関連列の選択



The screenshot shows a light blue header with the text 「ユーザーまたはグループ」列を選択. Below the header is a white rectangular area containing a list of checkboxes. The first checkbox is labeled 「関連列を表示(例えば:参照列)」. Below it, there are three more checkboxes labeled 「ユーザー」, 「作成者」, and 「更新者」.

Permission Workflow にはすべてのユーザーまたはグループ列が利用可能です。これらのチェックボックスをオンにすると、これらの列に含まれるユーザーとグループは選択されます。この選択は指定した列値をフィールドできます。

c) 他のリストからユーザーの参照と条件を基づいてのフィールド

他の列からユーザーまたはグループを選択してください

異なるリストからユーザー/グループ列を選択:

サイトを選択: HR管理

リストを選択: HR管理

「ユーザーまたはグループ」列を選択:

ユーザー

作成者

更新者

条件式を有効にする

アクセス権限が割り当てられるユーザー/グループを選択するには、条件式を入力してください:

[列の挿入...] [演算子の挿入...] [関数の挿入...]

関数に関するヘルプチップ

条件式設定をテキスト

アクセス権限の設定を追加

他のリストからユーザーの選択というプロセスは次のように実行します:

- 参照先リストを指定します。管理者は最初にリストがあるサイトを指定する必要があります。同じサイトコレクションにのみサイトだけが利用可能です。このサイトにのすべてのリストは右のドロップダウンリストに表示されます。
- 「ユーザーまたはグループ」列を指定します。ユーザー/グループ列前のチェックボックスをオンして選択します。前のユーザー/グループ列の選択と類似ですが、ただ、違うことは、ログインにかかわらずすべてのユーザーは列からプルされます。こうして、権限設定はすべてのアイテムに適用します。
- 条件式を基づいて、選択したユーザーをフィルタします。

条件式を基づいて、選択条件を指定

条件は次の二つの部分に追加されます:

a) 他のサイトからユーザーまたはグループのフィルタ

b) 権限設定の影響を受けるアイテムの指定

a) 他のリストからユーザーの選択は次の手順で従います:

- 参照先リストの指定。管理者は最初にリストがあるサイトを指定する必要があります。同じサイトコレクションにのサイトだけが利用可能です。このサイトにのすべてのリストは右のドロップダウンリストに表示されます。
- 「ユーザーまたはグループ」列の指定。ユーザー/グループ列をチェックボックスをオンして選択します。
- 条件式を設定して、結果のフィルタ。条件式を使って、ユーザーまたはグループ列とこのリストの既存の列と間に関連関係を築けます。このことで、条件式を満たすユーザーのみが選択されます。

b) 権限設定の影響を受けるアイテムの指定:

アクセス権限設定を選択

条件式を追加
権限が割り当てられるユーザーまたはグループを選択するには、条件式を入力してください。

[列の挿入] [演算子の挿入] [関数の挿入]

関数に関するヘルプチップ

条件式の入力で、管理者は権限設定の影響を受けるアイテムを指定できます。ただ、現在のリストアイテムだけが選択され、他のリストにのアイテムを参照できません。そして、関係付けられた列にのアイテムも選択されることができません。これはユーザーの選択と最も大きな違いです。

権限設定のインポート/エクスポート

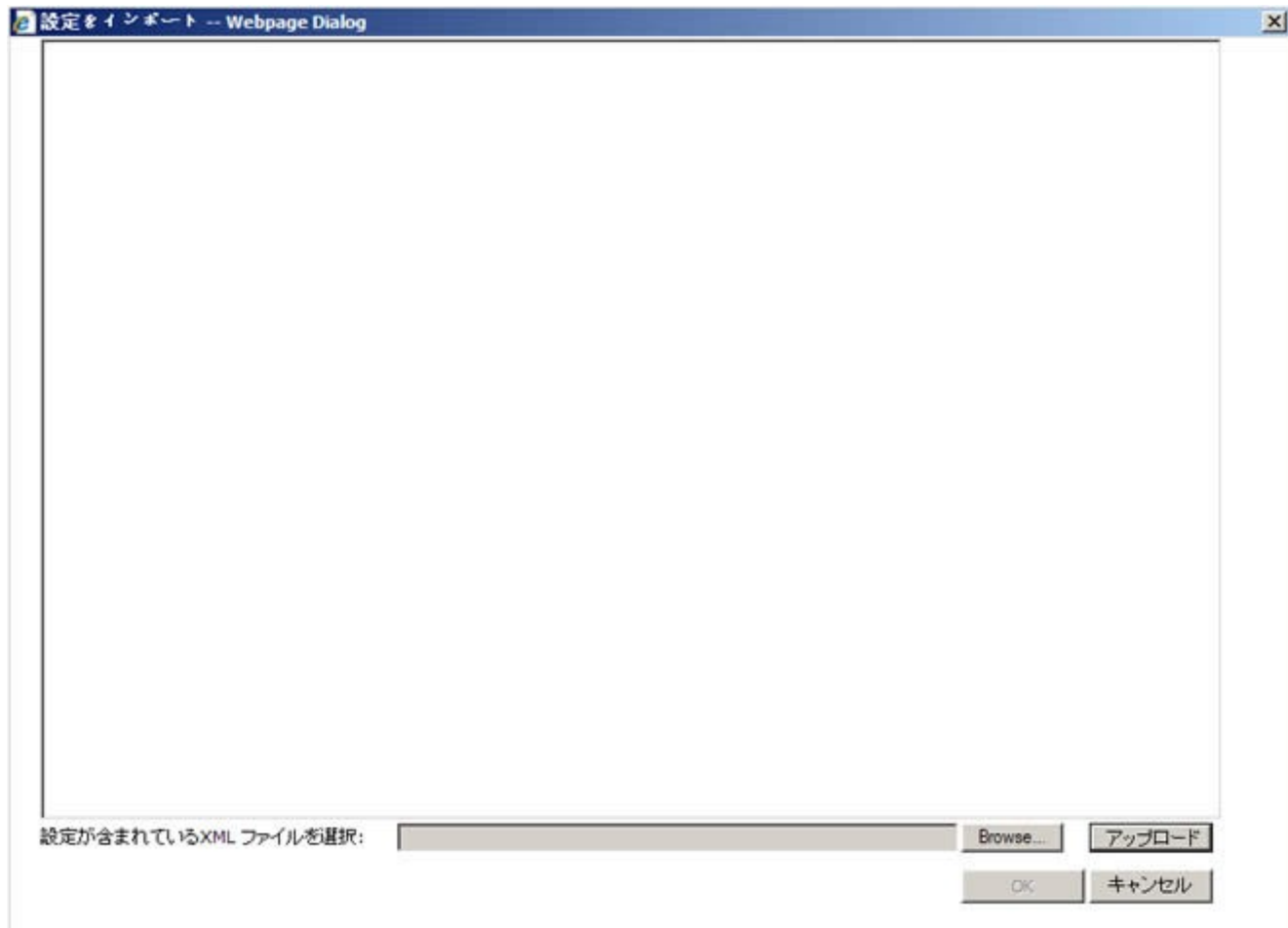
インポートまたはエクスポート

現在の設定をxmlファイルとしてインポートまたはエクスポートします。

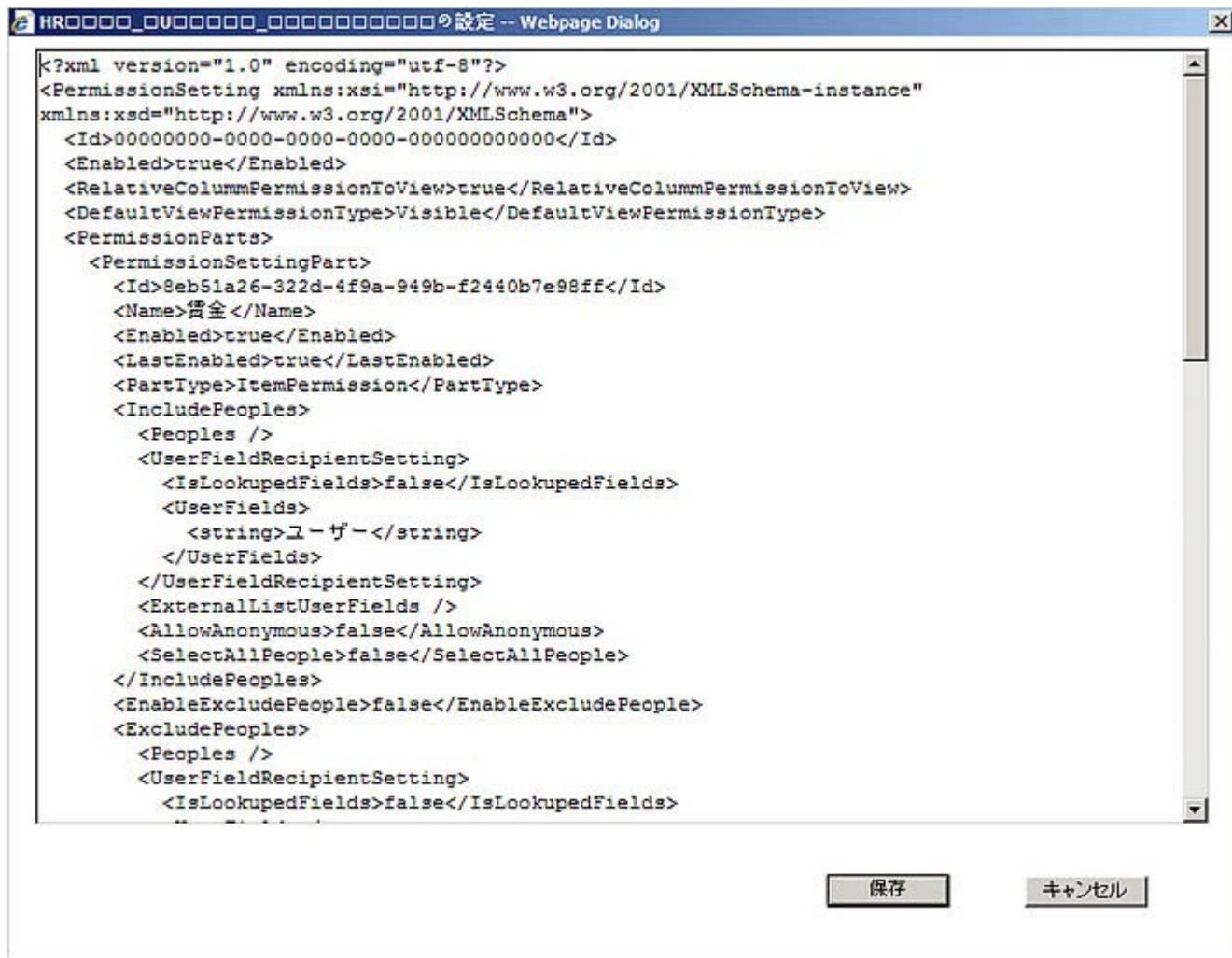
インポート

エクスポート

Permission Workflow はアクセス権限設定を XML ファイルとしてインポートまたはエクスポートできます。ことで、異なるサイトのために類似なアクセス権限を作成することはより易しく、かかる時間が少なくなります。



設定をインポートするには、インポートボタンをクリックしてください。ポップアップウィンドアが開きます。この画面で、管理者は XML ファイルのコンテンツを指定エリアに貼り付けるか、一つのファイルを参照しアップロードします。ファイルのアップロードした後、ファイルのコンテンツはアップロードエリア上の場所に表示されます。OK をクリックして、XML ファイルのインポートを確認します。キャンセルをクリックして、インポートを停止します。



アクセス権限の設定をエクスポートするには、エクスポートボタンをクリックしてください。編集エリアで XML ファイルコンテンツを表示するポップアップウィンドアが開きます。管理者はこの設定を他のリストに再利用可能になるために、任意の場所に保存できます。キャンセルをクリックして、インポートを停止します。

Permission Workflow の有効化または無効化

権限ワークフロー

アイテム権限を有効/無効にします

権限ワークフローを有効/無効にする

- 有効にする
- 無効にする

この部分で管理者がこのリストにの列へのアクセス権限設定をグローバルに有効化または無効化できます。

権限設定

| アクセス権限設定 | アクセス権限設定名(クリックして編集) | クリックして削除 | 有効/無効にする | 状態 |
|--|---------------------|----------|----------|----|
| アイテムレベルのアクセス権限をセットします。 | 健全 | 削除 | 無効にする | 有効 |
| <ul style="list-style-type: none"> アイテム権限設定を追加 元の設定に戻す(このリストだけに) | | | | |

Permission Boost でセットアップされたすべての権限設定は上のように表示されます。この権限設定は削除されるか、または有効化/無効化されます。既存の権限設定を変更するには、管理者は設定の名前をクリックして、権限の設定ページを開いてください。

「アイテム権限設定を追加」を使用して、管理者は新しい権限設定を作成できるようになります。このリンクをクリックすると、新しい権限設定ページは開きます。

「元の設定に戻す」を使用して、すべてのカスタマイズ権限設定は無効化になります。ユーザーごとに対して、アクセス権限はリストの元の権限設定に復元します。

| アクセス権限設定 | アクセス権限設定名(クリックして編集) | クリックして削除 | 有効/無効にする | 状態 |
|--|---------------------|----------|----------|----|
| アイテムレベルのアクセス権限をセットします。 | 健全 | 削除 | 無効にする | 有効 |
| | 権限意向 | 削除 | 無効にする | 有効 |
| | 制限ありユーザー | 削除 | 無効にする | 有効 |
| | サイトの所有者 | 削除 | 無効にする | 有効 |
| <ul style="list-style-type: none"> アイテム権限設定を追加 元の設定に戻す(このリストだけに) | | | | |

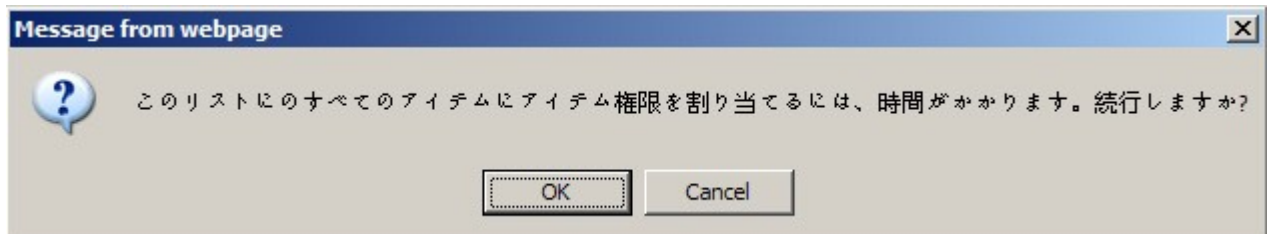
すべてのアイテムに権限を割り当てる

すべてのアイテムにアイテム権限を割り当てる

このチェックボックスをオンにすると、アイテム権限設定はこのリストにのすべてのアイテム(新しいアイテムも既存のアイテムも)に割り当てられます。

すべてのアイテムにアイテム権限を割り当てる

この機能ですべての既存のアイテムはこの権限設定を適用できます。アイテムがある既存のリストのためにワークフローを初めて作成する場合には、これは大変役立つツールです。チェックボックスをオンにすると、確認のためのポップアップウィンドウは表示します。OK をクリックして続行します。



これらの設定を有効にするには、管理者は主要設定ページでの OK をクリックする必要があります。

アイテム権限設定



アイテム権限設定で、管理者は権限設定の影響を受けるアイテム、及び、これらのアイテムへの権限レベルを指定できるようになります。アイテムを指定するには、条件式を使用してください。

アクセスレベルをセットアップしてから、これらの権限レベルはサイト コレクションの権限設定からブルされます。

アクセス権限設定を追加をクリックすると、類似なペインは開きます。異なる権限設定は作成できます。

例

賃金情報を格納するリストがあります。SharePoint の標準の機能で、すべての従業員がこれらのリストにのすべての情報を見えます。ただ、このことは他人のプロパティを侵害します。

| 賃金情報 | | | |
|-----------------------|-------|------------|------------------------|
| 新規 ▾ | 操作 ▾ | 設定 ▾ | ビュー: すべてのアイテム ▾ |
| <input type="radio"/> | ユーザー | 従業員ID | 賃金 |
| | 田中 淳子 | SPB01-2253 | ¥230,000 |
| | 中村 次郎 | SPB01-2254 | ¥430,000 |
| | 福田 三郎 | SPB01-2255 | ¥290,000 |
| | 鈴木 二郎 | SPB01-2256 | ¥330,000 |
| | test1 | SPB01-2257 | ¥260,000 |

今、解決策があります。Permission Workflow を使用して、人々は自分だけの賃金を見ます。まず、管理者はこのリストのために、権限ワークフローを作成します。この権限ワークフローはすべてのアイテムに適用するには、「新しいアイテムが作成されたら、このワークフローを開始する」と「アイテムが変更されたら、このワークフローを開始する」先頭のチェックボックスをオンにしてください。

Home > HR管理 > 賃金情報 > 設定 > ワークフロー設定 > ワークフローの追加または変更
ワークフローの追加: 賃金情報

このページを使用して、このリストにワークフローを設定します。

| | |
|--|--|
| ワークフロー このリストに追加するワークフローを選択してください。目的のワークフロー テンプレートが表示されていない場合は、そのワークフロー テンプレートのサイト コレクションまたはワークスペースへの追加を管理者に依頼してください。 | ワークフロー テンプレートの選択 説明 SharePointBoost Alert ワークフロー SharePointBoost Reminder ワークフロー SharePointBoost 確認ワークフロー フィードバックの収集 <small>アイテムが作成や編集される時にアクセス権限の設定は自動的に変更します。または特定の列またはビューに特定の編集権限を割り当てます。</small> |
| 名前 このワークフローの名前を入力してください。入力した名前は、このリストのユーザーがこのワークフローを識別するために使用されます。 | このワークフローに付ける名前を入力してください (重複不可) <input type="text" value="賃金"/> |
| タスク リスト このワークフローで使用するタスクリストを選択してください。既存のタスク リストを選択することも、新しいタスクリストの作成を要求することもできます。 | タスクリストの選択 説明 タスク <small>タスクリストを使用して、個人やチーム間で作業の進捗状況を管理します。</small> |
| 履歴リスト このワークフローで使用する履歴リストを選択してください。既存の履歴リストを選択することも、新しい履歴リストの作成を要求することもできます。 | 履歴リストの選択 説明 ワークフローの履歴 <small>ワークフローの履歴</small> |
| 開始オプション このワークフローを開始する方法を指定してください。 | <input checked="" type="checkbox"/> アイテムの編集権限を持つ認証済みユーザーが、このワークフローを手動で開始できるようにする <input type="checkbox"/> ワークフローの開始にリストの管理権限を要求する <input type="checkbox"/> アイテムのメジャー バージョンの発行を承認するために、このワークフローを開始する <input checked="" type="checkbox"/> 新しいアイテムが作成されたら、このワークフローを開始する <input checked="" type="checkbox"/> アイテムが変更されたら、このワークフローを開始する |

権限ワークフローの主要設定ページは開きます。

Home > HR管理 > 賃金情報 > 設定 > アクセス権限主要設定
賃金情報をカスタマイズ

賃金の主要設定ページ

OKボタンをクリックして、行われた権限設定の変更を適用します。

| | |
|---|---|
| 権限ワークフロー アイテム権限を有効/無効にします | 権限ワークフローを有効/無効にする <input checked="" type="radio"/> 有効にする <input type="radio"/> 無効にする |
| アクセス権限設定 アイテムレベルのアクセス権限をセットします。 | アクセス権限設定名(クリックして編集) クリックして削除 有効/無効にする 状態 一つもアクセス権限設定は作成されていません。 <input type="button" value="アイテム権限設定を追加"/> <input type="button" value="元の設定に戻す(このリスト向け)"/> |
| インポートまたはエクスポート 現在の設定をxmlファイルとしてインポートまたはエクスポートします。 | <input type="button" value="インポート"/> <input type="button" value="エクスポート"/> |
| ライセンス管理 権限ワークフローのライセンスを管理します。 | 現在ご利用いただくのは権限ワークフロー 2.0.426.0の試用版です。(30日期限過ぎ)。ライセンスを管理するために、ここをクリックしてください。 |

OKボタンをクリックして、行われた権限設定の変更を適用します。

新しい権限設定を追加するには、「アイテム権限設定を追加」をクリックして、設定ページを開いてください。

まず、アクセス権限設定の名前を入力する必要があります。それから、ユーザーまたはグループ列を選択します。この例において、ユーザーを選択します。最後、アイテムに割り当てる許可レベルを選択してください。この例に、賃金情報は変更できなく、読み取り専用ですから、「閲覧—表示のみできます。」を選択します。

このリストにのすべてのアイテムはこの権限設定を適用するには、主要設定ページでの「すべてのアイテムにアイテム権限を割り当てる」先頭のチェックボックスをオンにしてください。

ようこそ **田中 淳子さん** | 個人用サイト | 個人用リンク |

このリスト: **賃金情報** | 高成な検索 | **サイトの操作**

Home > HR管理 > 賃金情報

新規 | 操作 | 設定 | ビュー: **すべてのアイテム**

| ユーザー | 従業員ID | 賃金 |
|--------------|------------|----------|
| 田中 淳子 | SPB01-2253 | ¥230,000 |